

# 安心安全・子育て・環境施策を促進



矢野ゆたか市長

## 矢野市長が新年度予算案発表

矢野ゆたか市長は2月17日、狛江市のまちづくりを促進するとともに、子育て新年度予算案を発表しました。一般会計と教育、健康と福祉の充実、環境対策と予算案は総額24.5億円余、安心安全の産業振興をすすめるものになっています。

### 安心・安全

## 防災センター建設、市庁舎耐震改修

### 防災行政無線の電話応答システム導入

### 高齢者や障がい者の災害時支援体制整備



予算案 円で3か年で完成させます。防災センターは免震構造の地上6階建て。市庁舎の隣に建設します。災害対策本部や消防団本部、住民情報を管理する部屋などが整備されます。一日約200トの地下水をくみ上げ災害時に7万人余の飲み水を確保します。トイレの洗浄水は雨水を利用します。市庁舎は屋上緑化や20kwの太陽光発電設備導入が行われます。また「防災行政無線が聞こえない」という声にこたえて、電話で同じ内容が開けるシステムを導入します。障がい者や高齢者など災害時に自力で避難できない方々への支援体制を、地域の支援団体と協力して整備します。安心安全基本条例の制定に向けたとりくみをすすめます。

## 保育園の耐震化促進、学校は耐震化100%

また三中・四中の校舎の耐震化を行い。小中学校校舎の耐震化工事を完了させます。保育園は、駒井保育園の建替え新築工事が行われます。また駄倉保育園の改修・増築設計も行われ

るなど耐震改修が促進され、今後4年間で耐震化が完了します。このほか地域防災計画を2年計画で見直すとともに、世田谷通りなど緊急輸送道路の沿道建物の耐震化が進められます。

## 待機児ゼロへ保育所新設

### 子育て

### 病後児保育スタート

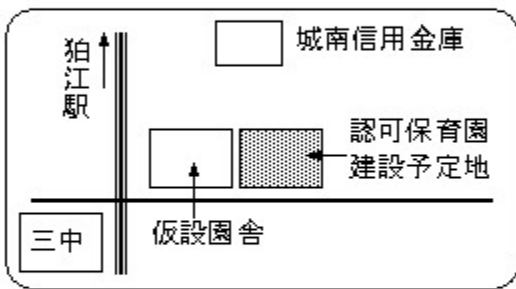
定員110名

子育て支援策では、保育園の待機児解消に向けて、110名定員の認可保育園を新設します。また駒井保育園

の改築に合わせ16名の定員増をはかるとともに、このほか病後児保育がスタートします。保護者が仕事などで休めない場合、病後回復期のお子さんを、ファミリーサポートの会員が

家庭を訪問し保育します。和泉小学校内には新たに放課後クラブが開設されます。六小と和泉小のフリースペースが三季休業中も実施されます。

駒井保育園に子どもを預けています。昨年の地震の時には本当に心配しました。今回新築されると聞いてほっとしています。また新しい保育園もできるとのこと。私も子どもが入れたときはうれしかったので、待っている人は助かると思いますよ。駒井町・若杉民さん(劇団民藝)



## 全普通教室のエアコン整備

### 中学校給食の給食センター新築設計

普通教室 予算と新年度予算で整備を完了させます。また中学校給食の充実へ、西野川の旧七小跡地に給食センターを整備するための実施設計を行い増やします。

日本共産党狛江市議団ニュース



# だれもが安心して住み続けられる粕江へ

## 市民の願いを実現 粕江市新年度予算案

### 大腸がん検診拡大・前立腺がん検診実施

#### 民間施設のユニバーサルデザイン化に補助



**健康・福祉**

健康づくりでは、がんの早期発見へ大腸がん検診を拡大します。40歳から60歳まで5歳刻みで、節目の年になった方にクーポン券を送付し、健康づくりでは、がん検診を促します。前立腺がん検診は、特定健診とセットで行います。また誰もが住みやすいまちづくりを進めるため、福祉基本条例を改正します。公共施設のユニバーサルデザイン化に補助をします。

#### 市内三つ目 特養ホーム建設推進

**環境・産業振興**

私の親も友達もが  
んになりました。でも  
も早期発見でいまも  
元気です。今度の予算で、がん  
の検診が充実して一人でも多く  
の人の命が守られればと思いま  
す。大井伸之さん（東和泉）

市内3つ目の特養ホームを西野川の旧七小跡地に建設するため、今年度中に運営する社会福祉法人を選定し、新年度は設計等、建設に向けた準備をすすめます。

また孤独死ゼロをめざして、あんしん見守りサービスの利用を拡大します。介護保険料は基金を活用して、値上げ幅を抑え基準額を月額4500円にしました。

### 公共施設の電力契約、東電以外にも門戸

#### 住宅リフォーム助成を継続、西野川に体験農園開設

原発事故を受けて東京電力以外の事業者と契約する自治体が増えていきました。粕江市も、市庁舎、小中学校、地域センターなど来年度の電力契約を、東京電力以外の事業者にも門戸を開きました。

また今年度に続き上限20万円の住宅リフォーム助成制度が実施され、商店街振興へ、ランチをテーマにコンテストが行われます。

### 太陽光発電・太陽熱利用に助成

#### 商店街装飾街路灯のLED化に補助

自然エネルギーの活用を促進するため太陽光発電や太陽熱利用に助成します。太陽光発電パネルを設置する住宅は増えており、昨年度までの市内の設置件数は累計232件です。

また商店街の装飾街路灯のLED化に助成します。都の補助と合わせて9割補助となります。このほか庁用車に電気自動車を購入、また東和泉2丁目の旧清水川の緑道整備が行われます。



太陽光パネルを設置している住宅

### 猪方小川塚古墳買収、市史編さんスタート

#### 岩戸地域センター建替設計、平和都市宣言30周年事業

**文化・まちづくり**

猪方小川塚古墳は7世紀の横穴式古墳で、市内でも多摩川流域でも珍しく貴重なものです。その土地を買収し保存します。また市制施行50周年（2020年）刊行めざして市史編さん事業がスタートします。

上和泉地域センターの改修、岩戸地域センターと第五分団器具置き場の建て替え設計、南部地域センター改修設計が行われます。また平和都市宣言30周年記念事業をすすめます。住民票等の自動交付機の利用料金が値下げされます。



発掘された猪方小川塚古墳